

令和3年度 佐賀・小城・多久地区
佐賀県立高等学校入学者選抜合同説明会

佐賀工業高等学校

【 全日制課程 】

令和2年10月20日（火）

会場 東部教育事務所
大研修室（総合庁舎）

〒840-0841 佐賀市緑小路1番1号
TEL 0952（24）4356
FAX 0952（25）7043

学校ホームページ <https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoku/>
学校電子メール sagakougyoukoku@education.saga.jp

目 次

1	本校の概要・特色	1
2	各科紹介（全日制）	1～2
3	進路について（全日制）	3～4
	（1）進学関係	
	（2）就職関係	
	（3）進路内定状況（過去5年）	
4	入学者選抜について	5～8
	（1）特別選抜	
	（2）一般選抜	
	別紙1（様式3）	9
	別紙2（様式10）	10
	別紙3（様式11）	11
	別紙4 入学時及び年間に 必要な経費について	12

1 本校の概要・特色

校訓に「至誠剛健」を掲げ、122年の歴史に培われた伝統に学びながら、21世紀を担う平和で民主的な社会の形成者として、人間愛に満ちた心身共に健全で逞しい工業技術者を育成することを目標としている。

・規律ある高校生活の定着・ものづくり教育の推進・部活動の充実・開かれた学校づくりの推進を重点目標として、「知識と技術」・「人間性と心」・「体力と気力」・「誇りと責任」を備えた生徒像をめざし指導している。この目標の実現に向けて、グランドデザイン「SAKO PLAN（咲こう ぷらん）」をもとに、学校全体の取り組みとしている。また、資格取得にも力を入れ、全ての学科で国家資格試験や検定試験に積極的にチャレンジしている。さらに、インターシップ、工場見学、外部講師による講演などを実施し、最先端の工業技術について学ぶとともに、よりよい進路選択ができるようにしている。

教育課程編成においては、大学などへの進学を含め、生徒の興味・関心や進路希望に応えるため、二・三年次において4単位ずつ計8単位（普通・専門科目）の選択制を実施している。

部活動においては、運動部・文化部共に活動が盛んで、95%程度の生徒が加入して熱心に取り組んでいる。県内での成績や実績も顕著で、九州大会や全国大会にも多数出場している。

2 各科紹介

<機械科>



「ものづくり」をするための基本的な機械技術の学習をとおして学力と技術・安全に対する意識を十分に身に付け、より高い技能・技術の伝承を効果的に実施することで工業のあらゆる分野で社会に貢献できる人材を育成する。

機械製図検定を全員受験することで、図面を正確に読み取る力と描く力を身に付ける。また、製鉄の基本である、金属を溶かし型に流し込む全国でも実施例の少ない「キューポラ実習」を行い、素材から製品までのものづくりの伝統技術を学ぶ。

(写真：旋盤)

<機械システム科>



機械の基礎やセンサー技術、電動機制御の基礎などを勉強します。また、自動化された機械の仕組みや生産システム技術を習得し、工場の自動化に対応する技術まで幅広く学習し、ものづくりをとおして社会に貢献できる人材を育成する。

メカトロニクスの基礎から応用までを学ぶ電子機械や機械技術、生産管理を学ぶ生産システム技術を学習し、「機械を自動で動かし、機械に仕事をさせる技術を学ぶ学科」として、自動化された機械を操作できる知識・技術を学ぶ。

(写真：三次元CAD、3Dプリンタ)

<電気科>



電気の基礎から発電・送電・配電や発電機・電動機・変圧器について総合的に学び、電力業界の中核となって活躍できる知識と技術を身に付けた技術者を育成する。

第二種電気工事士（全員受験）、第一種電気工事士、第三種電気主任技術者など電気設備の運用・管理に特化した資格を取得することにより高度な専門的知識や技術を学ぶ。また、第三種電気主任技術者の認定校（認定学科）になっているため、全員が電気設備の維持及び運用に関する保安監督を行う主任技術者の職種に就くことができる。

（写真：電動機性能試験）

<電子科>



電気の基礎をはじめ半導体素子の原理や電子回路、また、ネットワーク通信、無線通信、光ファイバーなどの通信技術、そして自動運転などの電子制御を学び、複雑化した電子機器の開発や製造に対応できる技術者を育成する。

陸上特殊無線技士を全員取得させることにより、無線の知識、技能を学ぶことができる。また電子機器に関する技能検定を受験し、電子機器の回路設計から組立までを学ぶことができる。その他、工事担任者や無線技士など、電子系の資格を取得することにより高度な専門的知識や技術を学ぶ。

（写真：レーダー操作）

<情報システム科>

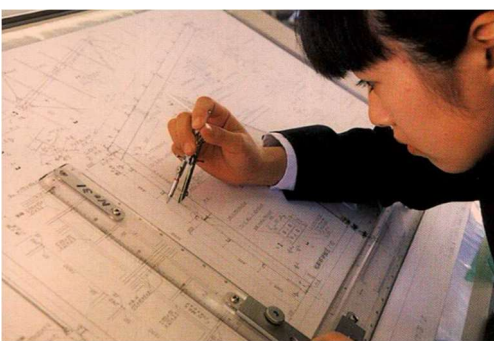


コンピュータの動作原理を学ぶハードウェア技術やプログラミング技術を学習し、現代の高度情報化社会を支えるコンピュータネットワークの構築や運用ができ、ネットワーク社会でシステムエンジニアとして活躍できる技術者を育成する。

コンピュータネットワークの構築やコンピュータ制御のロボットを製作する実習を行うことで、実践的な知識や技術を学ぶ。また、工事担任者（AI・DD総合種）や情報技術検定1級などの高度な資格を取得することにより、専門的知識や技術を学ぶ。

（写真：シーケンス制御）

<建築科>



建築構造・計画・施工・設計・法規など建築全般に関する基礎・基本を学習し、製図やCADをとおして図面化する技術を身に付け、建築技術者として実社会で活躍できる人材を育成する。

建築物を建てるための学習（計画、構造、設計、施工、法規）を行い、建築士会が主催する設計競技大会などに挑戦する。また、建築大工技能士（2級、3級）やCAD検定、2級建築施工管理技士の学科試験をめざした学習をとおして、建築分野で活躍できる専門的な知識・技術を学ぶ。

（写真：建築製図）

3 進路について

(1) 進学関係

最近では「少子化」の影響や、「目的意識の明確な人物を入学させたい」という理由から工業系大学や専門学校への推薦入学枠が拡大され、工業高校からは進学しやすい傾向にあります。

しかし、工業高校では、授業時数の約半数が専門教科や実習になるため、どうしても国語・英語・数学などの普通教科の授業時間が少なくなります。そのため、二次次より選択制度を設け、不足分を補うようにしています。また、大学進学希望者を対象に、普通教科の実力を養成するための「進学補習」を一年次より実施しており、年に2回の対外模試も行っています。

ア 推薦入学制度について

最近では、ほとんどの大学で推薦入学試験を実施しています。推薦入試は面接と書類審査が中心ですが、それに加えて基礎学力を見る試験や小論文、あるいは作文を課す場合もあります。特に私立大学の場合は、専門学校や総合学科高校からの受験者に不利にならないように、普通高校出身者とは別に「専門高校枠」を設けている大学もあります。

また、一口に推薦入試といっても、その内容は、①一般推薦入試、②AO（自己推薦）入試、③指定校推薦入試、④スポーツなど有資格者推薦入試、多岐にわたっています。本校の場合、指定校推薦およびスポーツ推薦による進学が中心となっていますが、最近では、一般推薦やAO入試などで受験する生徒も増えています。

国立大学などにおいても、推薦入試制度を取り入れ、専門学校から成績が優秀で科学技術に強い関心のある者に対して、推薦入試（書類審査、面接[専門内容を含む]、小論文）を受け付けているところがあります。一般に大学入学試験は、1月末から3月にかけて実施されますが、推薦入試はこれに先立ち、10月から始まります。試験の内容は、面接・小論文・筆記試験などです。本校でも毎年、佐賀大学に専門学校推薦入試で受験し、高い合格率を残しています。

イ 推薦により進学した主な大学（過去5年） (ス)：スポーツ推薦

佐賀大学 大阪教育大学 福岡工業大学 久留米工業大学 長崎総合科学大学
福岡大学 九州産業大学 広島工業大学 西日本工業大学 千葉工業大学 崇城大学
鹿屋体育大学(ス) 明治大学(ス) 青山学院大学(ス) 日本大学(ス) 國學院大学(ス)
関東学院大学(ス) 専修大学(ス) 日本体育大学(ス) 帝京大学(ス) 国土館大学(ス)
山梨学院大学(ス) 関西大学(ス) 大東文化大学(ス) 徳山大学(ス) など

ウ 推薦入試の指定校になっている主な大学・短大 ()内は学部名

【大学】

福岡工業大学(工・情報工) 九州産業大学(理工・生命科・建築都市工)
久留米工業大学(工) 崇城大学(工・情報工・生物生命・芸術)
長崎総合科学大学(工・総合情報) 西日本工業大学(工・デザイン)
日本文理大学(工・経営経済) 広島工業大学(工・情報など)
千葉工業大学(工・社会システム科など) 愛知工業大学(工・情報など)
神奈川工科大学(各) など
その他： 西九州大学(各) 城西大学(経済など) 近畿大学(産業理工)
九州共立大学(経済) など

【短大】

福岡工業大学短期大学部 西九州大学短期大学部 活水女子短大 精華女子短大
九州造形短大 西日本短大 九州龍谷短大 など

(2) 就職関係

今年度の求人数は、コロナウイルス感染の影響で減少傾向にあります。今年度8月30日現在求人数は923社（昨年度は1094社）で昨年度より171社の減少となりました。しかし、県内企業をはじめ、各地区の企業から佐賀工業生をぜひ採用したいとの求人を多数いただきました。また、後継者となる人材が不足しているとの理由からの求人もいただいており有効求人倍率は4倍超となりました。昨年との地区別就職者では、県内47%、県外53%の割合となっています。

本校生徒は就職において、技術者として専門的な知識や技術を活かした進路を選んでいきます。また、企業からも将来の中堅技術者として期待されています。特徴としては、生徒の就職内定先の職種のほとんどが、製造業と建設業の技術・技能職関係となっています。

令和2年度（8月末現在）の主な進路希望状況

	関東	中京	関西	中・四	九州	県内	自営・縁故	公務員	就職合計	大学	短大	専門学校	進学合計	その他	卒業予定者数
機械科	4	10	6	7	10	25	0	2	64	11	1	3	15	0	79
電気科	7	3	2	2	22	32	0	4	72	4	1	3	8	0	80
電情科	21	0	0	0	12	20	1	3	57	16	1	5	22	0	79
建築科	5	0	1	0	3	18	0	4	31	5	0	4	9	0	40
合計	37	13	9	9	47	95	1	13	224	36	3	15	54	0	278

就職希望者の割合 80.2%（県内就職：46.6%、県外就職：53.4%）

進学希望者の割合 18.7%

(3) 進路内定状況（過去5年）

<県内>

(株)戸上電機製作所 小糸九州(株) 松尾建設(株) (株)佐賀鉄工所 (株)佐電工 日本タングステン(株)
 (株)ミゾタ (株)中野建設 (株)大神 (株)ヤクルト本社佐賀工場 (株)エフピコ佐賀 (株)上滝建設
 (株)戸上デンソー (株)SUMCO 佐賀エレクトロニクス(株) トヨタ紡織九州(株) アイリスオーヤマ(株)
 パナソニックデバイス佐賀(株) 東洋ビューティー(株) 大塚製薬(株) 味の素冷凍食品(株) 竹下製菓(株)
 大同メタル佐賀(株) 日之出水道機器(株) (株)サガシキ (株)中山鉄工所 (株)協和製作所 森鉄工(株)
 (株)かわでん九州工場 日東工業(株) 中村電機製作所(株) 大和製罐(株) (株)サン海苔 五光建設(株)
 ニシム電子工業(株) 田中電子工業(株) (株)名村造船所 ブリヂストン(株)佐賀工場 他

<県外>

日本製鉄(株) JFEスチール(株) (株)神戸製鋼所 川崎重工業(株) 九州電力(株) 関西電力(株)
 中部電力(株) 東京電力(株) 鹿島クレス(株) 向井建設(株) トヨタ自動車(株) トヨタ車体(株)
 日産自動車(株) 日産車体(株) 日野自動車(株) ダイハツ工業(株)本社 (株)SUBARU マツダ(株)
 (株)デンソー (株)本田技術研究所 ホンダエンジニアリング(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株)
 トヨタ紡織(株) トヨタ自動織機(株) アイシン精機(株) 日本電気(株) (株)東芝 (株)日立製作所
 新日本無線(株) ヤンマー建機(株) 大浦工測(株) (株)西島製作所 東洋製罐(株) 九州旅客鉄道(株)
 (株)九電ハイテック セントラル硝子(株) (株)トヨタ自動車九州 (財)九州電気保安 清水建設(株)
 昭和建設(株) 旭化成住宅建設(株) (株)ジェイテクト 西日本鉄道(株) 沖ウインテック(株) (株)九電工
 コスモ石油(株) 山九(株) TOTOエンジニアリング(株) 阪急阪神電気システム(株) 他

4 入学者選抜について

(1) 特別選抜

ア スポーツ推進指定校（競技実績に基づく募集枠）

スポーツ推進指定校では、学習面はもとより健康で人物的にも優れ、本校生徒会の運動部活動に所属して積極的に取り組み、競技者として活躍が見込まれる生徒。

(ア) 募集人員

陸上競技(トラック・フィールド)・男	5人以内
柔道・男女	7人以内
ラグビーフットボール・男女	18人以内

(イ) 学力検査・面接・体育実技など

志願者全員に、学力検査・面接・体育実技を行う。

a 期日・日程 令和3年2月4日(木) (第3限目以降の時間帯は予定)

選抜方法	第1限	第2限	第3限	第4限	昼休み	第5限
特別選抜	9:00 ～9:25	9:45 ～10:10	10:30 ～10:55	11:15 ～12:30	10:30 ～13:15	13:15～
	国語	数学	外国語(英語)	面接	昼食	実技

b 学力検査の配点

国語・数学・外国語(英語)とも、「実施要項」※1付表5のとおりとする。

c 集合時間・場所

出願時に通知する。

d 面接方法

個人面接とする。

e 体育実技(志願した競技に関する体育実技)

①陸上競技(トラック・フィールド)・男

[晴天時] 50m走、ミニハードル走、ミニハードルジャンプ、実績評価表

[雨天時] ミニハードル走、ミニハードルジャンプ、実績評価表

[持参品] 体操服(中学校指定のもの)、運動靴(雨天時は体育館シューズ)、ゼッケン※2

②柔道・男女

[晴天時] 得意技(投げ技)、立技(投げ技)の連絡技、立技(投げ技)から寝技(固め技・絞め技)への連絡技、約束稽古、実績評価表

[雨天時] 晴天時に同じ

[持参品] 柔道着、ゼッケン※2

③ラグビーフットボール・男女

[晴天時] 50m走、パスワーク・キック力、コンタクト、背筋力、握力、実績評価表

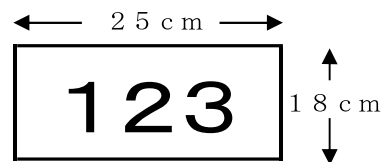
[雨天時] 25m走、パスワーク・キック力、コンタクト、背筋力、握力、実績評価表

[持参品] 体操服(中学校指定のもの)、運動靴(雨天時は体育館シューズ)、ゼッケン※2

f ゼッケン

①ゼッケンは、横25cm、縦18cmの白布に受検番号のみを黒書きのこと。

②体操服の前後中央に、糸で縫い付けること。ただし、柔道着は、後ろのみでよい。



[※2 ゼッケン例]

(ウ) 提出書類について(別紙1及び別紙2参照)

a 調査書(様式3)

①学校内外での活動・部活動等の記録について記載する。

②生徒会などでの活動実績、資格取得等で、特筆すべき事項があれば記入する。

③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

b 実績評価表(様式10)

①部活動等の記録(成績・記録)の欄が不足するときは、行を挿入する。

②実績評価表は、1枚に収める。

③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

(エ) 注意事項

上記以外のことについては、令和3年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項に則り実施するとともに、出願時に配付するプリントで知らせる。

※1「令和3年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項」

イ スポーツ推進指定校（学校希望に基づく募集枠）

スポーツ推進指定校では、学習面はもとより健康で人物的にも優れ、本校生徒会の運動部活動に所属して積極的に取り組み、競技者として活躍が見込まれる生徒。

(ア) 募集人員

- バレーボール・男 2人以内
- ソフトテニス・男 2人以内
- 野球・男 6人以内

(イ) 学力検査・面接・体育実技など

志願者全員に、学力検査・面接・体育実技を行う。

a 期日・日程 令和3年2月4日（木）（第3限目以降の時間帯は予定）

選抜方法	第1限	第2限	第3限	第4限	昼休み	第5限
特別選抜	9:00 ～9:25	9:45 ～10:10	10:30 ～10:55	11:15 ～12:30	10:30 ～13:15	13:15～
	国語	数学	外国語(英語)	面接	昼食	実技

b 学力検査の配点

国語・数学・外国語（英語）とも、「実施要項」※1付表5のとおりとする。

c 集合時間・場所

出願時に通知する。

d 面接方法

個人面接とする。

e 体育実技（志願した競技に関する体育実技）

①バレーボール・男

[晴天時] パス（オーバー、アンダー）・トス、サーブ・レセプション、スパイク、ランニングジャンプ、ブロックジャンプ、実績評価表

[雨天時] 晴天時に同じ

[持参品] 体操服（中学校指定のもの）、体育館シューズ、ゼッケン※2

②ソフトテニス・男

[晴天時] コート内ダッシュ、サーブ、レシーブ、移動ストローク、ハーフボレー、トップストローク、スマッシュ、実績評価表

[雨天時] 晴天時に同じ

[持参品] 体操服（中学校指定のもの）、運動靴（雨天時は体育館シューズ）、ラケット、ゼッケン※2

③野球・男

[晴天時] キャッチボール、トスバッティング、ベースランニング、ノック、基礎体力（敏捷性、柔軟性、体幹）、実績評価表

[雨天時] キャッチボール、素振り、20mダッシュ、ゴロキャッチ、基礎体力（敏捷性、柔軟性、体幹）、実績評価表

[持参品] 体操服（中学校指定のもの、防寒としてウインドブレーカーの着用可）、運動靴（雨天時は体育館シューズ）、グラブ、ゼッケン※2

f ゼッケン

①ゼッケンは、横25cm、縦18cmの白布に受検番号のみを黒書きのこと。

(ウ) 提出書類について（別紙1及び別紙2参照）

a 調査書（様式3）

①学校内外での活動・部活動等の記録について記載する。

②生徒会などでの活動実績、資格取得等で、特筆すべき事項があれば記入する。

③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

b 実績評価表（様式10）

①部活動等の記録（成績・記録）の欄が不足するときは、行を挿入する。

②実績評価表は、1枚に収める。

③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

(エ) 注意事項

上記以外のことについては、令和3年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項に則り実施するとともに、出願時に配付するプリントで知らせる。



[※2 ゼッケン例]

ウ 文化芸術推進指定校（教育課程に基づく募集枠）

募集なし

エ 文化芸術推進指定校（学校希望に基づく募集枠）

文化芸術推進指定校では、健康で人物的にも優れ、本校生徒会の機械科学部に所属して、専門的な知識・技術の習得と資格取得に積極的に取り組み、「工業のスペシャリスト」をめざす生徒。

(ア) 募集人員及び指定学科

機械科学・男女 2人以内 指定学科：機械科または機械システム科

(イ) 学力検査・面接・実技など

志願者全員に、学力検査・面接・文化芸術実技を行う。

a 期日・日程 令和3年2月4日（木）（第3限目以降の時間帯は予定）

選抜方法	第1限	第2限	第3限	第4限	昼休み	第5限
特別選抜	9:00 ～9:25	9:45 ～10:10	10:30 ～10:55	11:15 ～12:30	10:30 ～13:15	13:15～
	国語	数学	外国語(英語)	面接	昼食	実技

b 学力検査の配点

国語・数学・外国語（英語）とも、「実施要項」※1付表5のとおりとする。

c 集合時間・場所

出願時に通知する。

d 面接方法

個人面接とする。

e 文化芸術実技（志願した分野に関する実技）

①機械科学

ものづくりに関する作文、投影図の配置、投影図の正確さ、
立体図の正確さ、立体図の表現、展開図の正確さ、実績評価表
[持参品] 鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、コンパス、
2B鉛筆(作図用)、鉛筆を削る道具

(ウ) 提出書類について（別紙1及び別紙3参照）

a 調査書（様式3）

- ①学校内外での活動・部活動等の記録について記載する。
- ②生徒会などでの活動実績、資格取得等で、特筆すべき事項があれば記入する。
- ③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

b 実績評価表（様式11）

- ①部活動等の記録（成績・記録）の欄が不足するときは、行を挿入する。
- ②実績評価表は、1枚に収める。
- ③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

(エ) 注意事項

上記以外のことについては、令和3年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項に則り実施するとともに、出願時に配付するプリントで知らせる。

(2) 一般選抜

(ア) 募集人員

一般選抜選考Ⅰが下記の③選考Ⅰの数とする。

一般選抜選考Ⅱが下記の募集定員から特別選抜の合格者数と選考Ⅰを差し引いた数とする。

学 科	①募集定員	②特別選抜	③選考Ⅰ	④選考Ⅱ
機 械 科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名
機械システム科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名
電 気 科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名
電 子 科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名
情報システム科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名
建 築 科	40名	若干名	12名	(①-②-③)名

(イ) 学力検査・面接など

a 期日・日程

令和3年 3月3日(水)	第1限	第2限	第3限	
	9:20~10:10	10:30~11:20	11:40~12:30	
	国 語	理 科	外国語(英語)	
令和3年 3月4日(木)	第1限	第2限	昼休み	第3限
	9:20~10:10	10:30~11:20	11:20~11:55	12:00~14:30
	社 会	数 学	昼 食	面 接

b 学力検査の配点

国語・社会・数学・理科・外国語(英語)とも、「実施要項」※¹付表5のとおりとする。

c 集合時間・場所

①集合時間については、出願時に通知する。

②学力検査・面接実施会場の配置図は、3月2日(火)正午頃、本校生徒昇降口に掲示する。

d 面接方法など

①集団面接(5名程度)とする。

②面接のみを欠席した志願者に対して、改めての面接は行わない。

③面接が終わり次第、各自解散とする。

(ウ) 提出書類について(別紙1参照)

a 調査書(様式3)

①学校内外での活動・部活動等の記録について記載する。

②生徒会などでの活動実績、資格取得等で、特筆すべき事項があれば記入する。

③上記の事項については、可能な限り箇条書きで記入する。

(エ) 注意事項

上記以外のことについては、令和3年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項に則り実施するとともに、出願時に配付するプリントで知らせる。

令和 3 年度佐賀県立高等学校入学志願者調査書

記入責任者職氏名



志願者	ふりがな		性別		学校内外での活動・部活動等の記録	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">記入上の注意</div> <p>実績評価表に記載していることでも、必要なことは全て記載してください。 部活動などに関しては、所属部活動、役割、出場大会名、大会成績など具体的に記載してください。 実績評価表と重複してもかまいません。</p>
	氏名					
	生年月日	平成 年 月 日生				
	卒業等	令和 3 年 3 月 卒 見 込 年 3 月 卒				
出欠の記録	転入	平成 年 月 県 令和 (学校名)			<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>「出欠の記録」は、生徒指導要録に準拠して記入して記入し、第3学年については、令和2年4月1日から令和3年1月12日までの欠席日数を記載してください。「0」も記入。 長期欠席（連続10日以上又は学年ごとの欠席総数30日以上）の場合は、その理由を記載してください。</p> </div>	
	項目	欠席日数	備考			
	1 年					
	2 年					
特別活動の記録	内容	状況			<p>この記載事項に相違ないことを証明します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>学校名</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>令和3年1月12日現在で記載し、1月12日以降の証明日付けとします。</p> </div> <p>校長氏名</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">印</div>	
	学級活動					
	生徒会活動					
	学校行事					
行動の記録	項目	状況	項目	状況	<p>※ 取得した個人情報は、選抜業務の目的以外には使用しません。</p>	
	基本的な生活習慣		勤労・奉仕			
	健康・体力の向上		公正・公平			
	自主・自律		公共心・公德心			
	責任感					
	創意工夫					
	思いやり・協力					
生命尊重・自然愛護						

注) 1 令和3年1月12日現在で作成すること。

2 A4判1枚(両面印刷)とすること。

※ 取得した個人情報は、選抜業務の目的以外には使用しません。

実績評価表 (スポーツ推進)

記入上の注意

佐賀県立 高等学校長 様

学 校 名
校 長 氏 名

主な実績等については、下記の記載事項に相違ないこと

記

(ふりがな)
志願者氏名

入学者選抜実施要項の4～6ページに記載の競技名・性別を記入ください。**正式名称で記載**

陸上競技(トラック・フィールド)・男
柔道・男女
ラグビーフットボール・男女
バレーボール・男
ソフトテニス・男
野球・男

指定競技名

部活動等の記録	種 目	種別・ポジション等	
	役割・資格等		
	成績・記録	競技大会等名	年度
		〇〇〇〇大会	H30
	〇〇〇〇大会	R元	〇〇地区大会優勝、〇〇県大会出場
当該部活動等における特記事項	<p>記入欄が不足する場合は行を挿入してください。</p> <p>所属部内での役割や審判資格などがあれば記載してください。</p>		
将来の進路	<p>同一大会で地区・県・全国大会に出場した場合は、記入例のようにすべて記載してください。</p>		

- (注) 1 特別選抜(スポーツ推進指定校)に志願する者のみ提出すること。
 2 指定競技・種目以外でも実績があるものについて記載すること。
 3 学校内の部活動以外の社会体育についても、該当があれば記載すること。
 4 用紙はA4判とすること。

※ 取得した個人情報、選抜業務の目的以外には使用しません。

実績評価表（文化芸術推進指定校用）

記入上の注意

令和

佐賀県立

高等学校長 様

学校名

校長氏名



貴校への志願に当たり、下記のとおり提出します。

記

入学者選抜実施要項の7ページに記載の指定学科を記載ください。

機 械 科 または **機械システム科**

ふりがな 志願者氏名			
志望学科		指定学科・分野名	
所属部活動等			
部活動等における役職			
活動状況について	<p>入学者選抜実施要項の7ページに記載の指定学科・分野名を記載ください。 正式名称で記載</p> <p>機械科・機械科学 または 機械システム科・機械科学</p>		
入賞実績・記録・段位等	<p>技術家庭などの実技科目、文化祭展示や制作課題での取り組み状況などを記載してください。</p> <p>ロボット競技会、資格試験、自由研究発表、美術作品出品、書道などのコンクールにおける成績や記録を記載してください。</p>		

- (注) 1 特別選抜（文化芸術推進指定校）に志願する者のみ提出すること。
 2 指定分野以外でも実績があるものについて記載すること。
 3 学校内の部活動以外の文化芸術活動についても、該当があれば記載すること。
 4 用紙はA4判とすること。

※ 取得した個人情報は、選抜業務の目的以外には使用しません。

入学時及び年間に必要な経費について

1 入学時に必要な経費

①入学時保護者納付金

(単位：円)

	機械科	機械システム科	電気科	電子科	情報システム科	建築科
入学式当日	84,000	85,000	90,000	91,000	75,000	72,000

※入学手数料 (5,550円) が含まれています。

②購入物品の明細 (1年生)

(単位：円)

	機械科	機械システム科	電気科	電子科	情報システム科	建築科
製図器及び付属品	6,050	6,050	-	-	-	4,900
電気工事工具セット	-	-	5,600	5,600	-	-
自在定規・情報テンプレート	-	-	330	330	1,250	-
関数電卓	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450
実習服	9,930	9,930	8,110	8,110	8,110	7,730
教科書・副教材	22,837	22,837	23,855	23,855	21,970	23,165
	41,267	41,267	40,345	40,345	33,780	38,245

③各課共通購入物品

(単位：円)

制服	(男)		28,050
	(女)		39,400
長袖カッター (男)			3,250
スクールバック			3,200
上履き			1,650
体操服	ジャージ (上下)		7,220
	ハーフパンツ		2,140
	半袖シャツ (2枚)		4,280
体育館シューズ (袋付き)			3,150
グラウンドシューズ (人工芝用)			3,950

(男) 計 56,890 (女) 計 64,990

2 入学後購入品 (5月)

(単位：円)

制服 (夏服)	(男)		10,650
	(女)		12,950

※体育の授業選択により、柔道着、水泳水着が必要になる場合があります。

3 年間に必要な経費

年間納付額

(単位：円)

	機械科	機械システム科	電気科	電子科	情報システム科	建築科
1年生	185,320	186,320	191,320	192,320	176,320	173,320
	※1-①の入学時保護者納付金が含まれています。					
	機械科		電気科		電子情報科	建築科
2年生	144,132		140,032		141,232	144,532
3年生	100,571		100,571		99,771	114,171

※就学支援金認定者以外の方は、別途、授業料 (9,900円/月) が必要です。

※1～2年時には修学旅行費、3年時には卒業アルバム代が含まれています。

◎令和2年度を参考に作成しておりますが、変更になることがあります。